

全国シェア現状比2倍

新築非住宅の取り組みを強化

ポラスグループは2020年までに、福岡県南部で大規模プレカット工場を稼働させる。既存の板東工場および富士工場のプレカット生産能力の拡大を平行して実施、同年における全国の木造住宅向けの全国プレカットシェアを、現状の10%から20%に引き上げる。業容拡大のための施策として、新築非住宅市場における取り組みを強化。中大規模木造建築市場での展開をさらに強化する目的で2014年11月に発売した最長12層スパンの木構造部材「スーパーキングビーム」の扱いを本格化させ、2015年の同社の全プレカット生産量に占める非住宅分野の生産量構成比を、昨年の約6%から約10%に高める計画だ。既に全国シェアトップの立ち位置を盤石なものとするため、新築非住宅木造の扱いを増やし、新築住宅市場の縮小でも揺らがない経営基盤を構築する。

「スーパーキングビーム」本格化

グループは九州でのプレカット工場新設について、数年前から中期的方向性として構想を示していたが、このほど、どの

スーパーキングビーム（上、写真手前）と、その貫通孔タイプ（奥）

現在、ポラスグループのプレカット加工拠点は、東北・ポラテック東北、北の東北工場（宮城県）、関東・ポラテックの板東工場（茨城県）、中部・ポラテック富士の富士工場（静岡県）、近畿以西は、非住宅新築市場にお

ける中大規模の木造建築需要だ。このため昨年、社内に「非住宅推進課」を設置。中大規模木造建築の設計に携わる建築事務所や、施工を担う総合建設業者への営業を本格化させている。

今年11月からは、扱いを始めた中大規模建築向けの木構造部材「スーパーキングビーム」の普及活動を始める。スーパーキングビームは、一般に流通している集成材を使い製造するI型の木構造材で、最大12層のスパンを飛ばせる。梁材のほかに2階床部の構成材としての活用も想定し、梁背部に穴をあけていないタイプと、配管用の貫通孔を設けたタイプの2種類の製品を用意した。「流通材を使うため製品単体のコスト競争力が高い」（北大路康信専務）こと、中大規模建築を木造で建てる際のコストメリットである①建物荷重がS造・RC造と比べて軽いために基礎施工および地盤改良コストがS造・RC造より安価②S造・RC造より償却期間が20年と短い③店舗（ファミレス・コンビニ等）11・6%の順となっている。

ポラテックのプレカット加工実績のうち非住宅向けは「5年ほど前は1〜2%のレベル」（同）だったが、近年は扱い量が増えている。昨年1年間（2013年12月〜14年11月）のプレカット実績95万坪に占める非住宅物件向けは5・8%で、その用途別構成比は①福祉施設等（35・5%）②保育所・幼稚園（13・9%）③店舗（ファミレス・コンビニ等）11・6%の順となっている。

ポラスグループは研究開発機関・ポラス暮らし科学研究所が開発した、小屋裏を有効利用できる「クレインシステム」や4種類のトラス構造といった、中大規模木造向け木構造システムを持つている。これに「スーパーキングビーム」を加えて中大規模木造市場で差別化を強める方針だ。

中大規模木造を強化

福岡への工場新設と共に、同社最初のプレカット工場である板東工場で、古いラインを最新設備に置き換えると同時に能力を増強するほか、富士工場の能力を大幅に増やすなどして2020年までに、月間のプレカット材生産量を現状の倍となる20万坪に増やす。これによりポラスグループの木造戸建住宅着工に占めるプレカット加工量シェアを、現在の10%から20%に高める。

プレカット材の供給拡大として強化する分野は、非住宅新築市場にお

